

# かみのやま

月刊

かかしのまちのミニ・マガジン

No. 144 2013.4.1

「東日本大震災」で亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに被災地の一日も早い復興を祈念申し上げます。

「上山城」からのたより 春・第47便  
上山城

二枚の写真から

長谷川 浩 一

かみのやま温泉〈開湯555年〉にあたって  
富士重人

連載 折々の詞画抄 13 《雑祭り》  
木村輝子

季を感ず〜俳諧逍遙 43 春の音  
をさわ 英幸

子どもの頃の思い出 47 「発見」「ベゴ」  
武野みどり

随筆／巳年に想う

齋藤繁衛

モンテディオ山形を応援しよう 16

水沼常喜

山里に居て 13 貧しさの中の豊かさとは

佐藤藤三郎

かみのやま湯良里ぶら〜り旅気分 83

増戸隆子

読者プレゼント・コーナー

編集子

写真：「啓翁桜」品評会で金賞（県知事賞）を受賞  
上山在住・山口さんの自信作

# かみのやま温泉〈開湯555年〉にあたって

富士重人  
(かみのやま温泉旅館組合長)

かみのやま温泉が発見されて今年でちょうど555年。もちろんいろんな説があることは承知していますが、この場ではあえて触れませんが、この場ではあえて触れませんが、いま大事だと思えることをのみ綴ってみたいと思います。

## ◆長祿二年(一四五八)の頃の話

湯町の沼に休んでいる鶴が、脛の傷を治している。その様子を通りがかつた月秀げつしゅうという僧がみて、「温泉」を発見したと言われています。室町時代の中頃のことです。もちろんその後、戦国時代から約百年以上、「温泉」は残念ながら庶民のものとはなりませんでした。時代は徳川の世となり、元号「元和」げんなに込められた家康の望み通り平和な時代を迎え、全国的に街道整備や町づくりが本格的に進められるようになりました。わが

上山においても然りです。参勤交代

のための宿駅の整備をはじめ、それと併行して羽州街道沿いには次第に町並みがつくられていきます。江戸時代の中頃からは庶民の間で「出羽三山参詣」が流行、人の往来が飛躍的に増大して行きました。そこで最初に整備されたのが現在の十日町で

した。〈温泉〉が共同浴場(今の下湯)として万民のために引かれたことが、その後の上山の発展の礎となったのです。この事実はけっして忘れてはなりません。その隆盛ぶりは、江戸末期に刊行された旅人向けガイド『東講商人鑑』あづまこうあんにんどがみなどをみて一目瞭然です。

## ◆〈温泉〉を核とした町の形成

〈温泉〉を楽しめる宿場町・上山は順調に発展し、「奥羽三楽郷」のひとつに数え上げられるまでになります(他の二つは山形県の湯野浜温泉、福島県の東山温泉)。それは江戸・明治・大正・昭和と続きました。とくに明治に入ると、もともと〈温泉〉が発見された湯町地区に温泉宿が復活し、城の周りを囲むように、大正年間には新湯が開湯して近代的な温泉街としての歩みを始めることこ

湯が湧き、夢が湧き、人も湧く  
ワクワク温泉城下町  
かみのやま

かみのやま温泉入～浴ラリー、参加者募集については上山市観光物産協会にお問合せ下さい。

☎023(672)0839

<http://kaminoyama-spa.com/>

なります。対外には高松温泉も開湯、さらに昭和二十四年には葉山温泉が新たに加わり、ほぼ現在のかみのやま温泉の姿ができあがったといえるのです。

### ◆これからの「かみのやま温泉」

たしかに東日本大震災は大きな痛手でしたが、その後いっそう、人びとの心のなかに「温もり」や「家族の親和性」といった内面的な絆の大切さが再認識されてきています。そんな社会的な要請に応えられ、大きな力を「温泉」は潜在的にもっているように思います。ホスピタリティです。幸いにも上山では、



## 解き仙洞

代神達入巻

開館 9:00～17:00  
毎週火曜日休館

年末年始休館  
12月29日～1月5日

上山市矢菜4丁目 023-672-0155

### 第39回斎藤茂吉記念全国大会

2013年 上山市体育文化センター エコーホール  
5/25(土) 13:30～開会 \*記念講演会(15:20～)  
講師 小池 光氏 (歌人・仙台文学館館長)  
※入場無料 演題「私の斎藤茂吉体験」

『赤光』発刊100年記念 全国短歌コンクール

5/26(日) 10:00～開会 上山市体育文化センター エコーホール  
記念シンポジウム \*記念シンポジウム  
『赤光』発刊100年と現代短歌  
パネリスト:秋葉四郎・藤部貞夫・今野寿美/進行:高野公彦

### 斎藤茂吉記念館

上山市北町字弁天(みゆき公園内)/672-7227

かつて二つに分かれていた温泉旅館組合がひとつにまとまり、これから時代の潮流を読み解きながら、「温泉」を中軸に据え、まちの活性化のために様々な事業を展開して行きたいと考えているところです。温泉の恵みに感謝し、これからの温泉による上山の再興に期待するものです。いま上山では気候性地形療法(クアオルト構想)の実現、そして内閣府より中心市街地の活性化事業推進の認可を受けその実現に向け動き出しています。たまたまゴーゴー(555)と語呂合わせになっていのも何かの縁と思わざるを得ないのです。

### ◆「かみのやま温泉入浴ラリィ」復活

平成四年から十六回に亘って開催され、その後休止されていた「かみのやま温泉入浴ラリィ」を、かみのやま温泉(開湯555年)の中心イベントとして復活させます。「温泉」をキーワードに、各「温泉」を巡る人びとの回遊性、それに伴う「食」や「商店街の魅力」再発見へとつなげたいという狙いからです。どうぞ、ふるさとの宝物である「温泉」をこの機会にしみじみと味わって下さい。そして、私たちのまちのあるべき姿を想像してみてください。

かみのやま博物館連絡会

### 祝 開湯555年講座

#### 「湯女の供養祭について」

講師/鎌上宏(観音寺住職)  
4月27日(日) 13:30～15:00  
受講料/無 料(要入館料)  
会 場/上山城館内

#### ◇春の茶会

4月29日(日) a.m.10:00～  
内容 先着150名様に抹茶無料サービス  
会 場/上山城館内

## 上山城

上山市元城内 023-673-3660